



出所：調査団撮影

-太平洋島嶼地域における観光事業の可能性-

太平洋島嶼国経済復興事業（観光分野）

太平洋島嶼国にとっての「観光」

本編に入る前に・・・

太平洋島嶼国における観光事業の立ち位置とは？

GDPに占める観光収入の割合は？

太平洋島嶼国にとっての「観光」

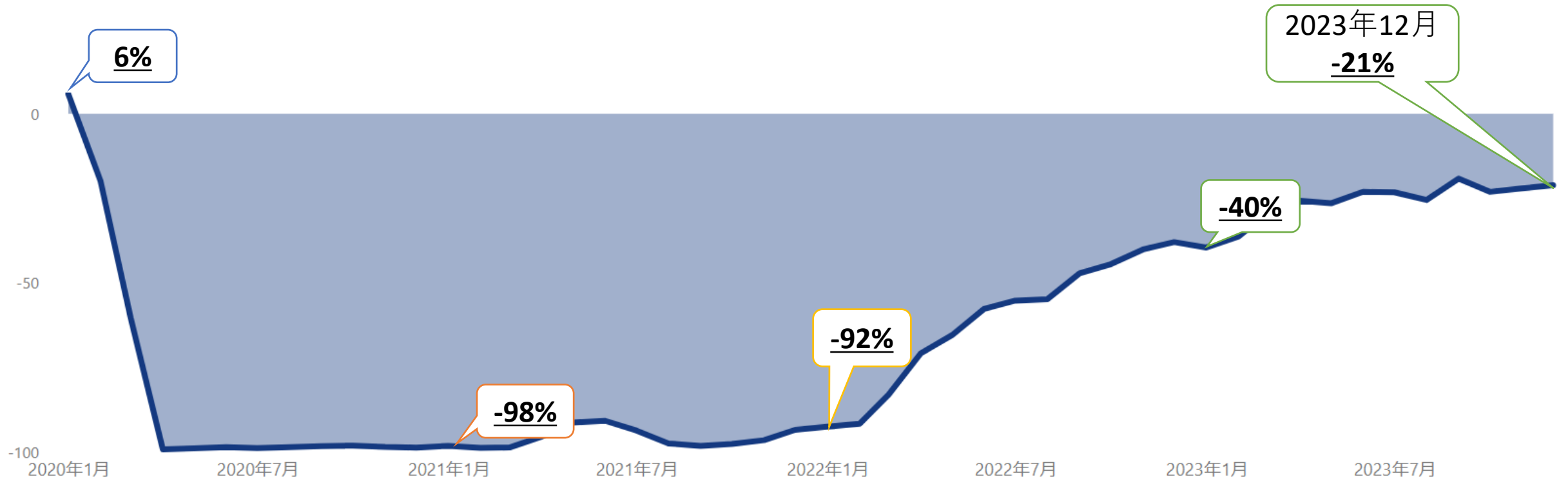
地域	国・経済	推計年	Tourism receipts (USD million)	Proportion to GDP (%)	Expenditure per tourist capita (USD)	Expenditure per tourist (USD)
Micronesia	FSM	2015	44.4	17.7	428	1,468
	Kiribati	2018	9.2	5.1	80	1,348
	Marshall Islands	2016	21.1	9.5	389	3,957
	Nauru			NA		
	Palau	2017	123.0	38.0	6,870	1,002
Melanesia	Fiji	2019	1,396.0	25.8	1,570	1,561
	New Caledonia	2016	291.4	3.1	1,063	2,519
	PNG	2019	352.2	1.5	396	2,224
	Solomon Islands	2019	78.2	5.1	115	2,703
	Vanuatu	2018	187.6	22.6	645	1,555
Polynesia	America Samoa	2017	21.2	3.3	381	1,061
	Cook Islands	2019	224.2	66.1	11,099	1,306
	French Polynesia	2019	744.0	12.8	2,664	3,144
	Niue	2019	7.8	28.1	4,189	764
	Samoa	2019	201.0	24.5	1,000	1,156
	Tonga	2019	55.0	11.1	552	815
	Tuvalu	2018	2.4	5.6	226	879
	Wallis & Futuna			NA		
Others	Timor Leste	2017	222.8	14.1	176	1,879

平均
約17.3%

太平洋島嶼国の観光収入

出所：JICA(2022)大洋州地域大洋州地域における観光開発分野情報収集・確認調査

太平洋島嶼国にとっての「観光」






*2019年を基準(0)とした場合

【2019年比】外国人訪問者数（オセアニア地域）

出所：UNWTO Tourism Recovery Trackerを参照に調査団作成

(<https://www.unwto.org/tourism-data/unwto-tourism-recovery-tracker>)

太平洋島嶼国にとっての「観光」

地域	メラネシア地域	ポリネシア地域	ミクロネシア地域
			
Pre-Covid (2019)	1,333,968人 (100%)	663,856人 (100%)	38,389人 (100%)
Under-Covid(2021)	61,559人 (2019年比:5%)	96,555人 (2019年比:15%)	34人 (2019年比:1%未満)
Post-Covid (2022)	821,584人 (2019年比: 62%)	397,631人 (2019年比: 60%)	5,114人 (2019年比: 13%)

太平洋島嶼国外国人訪問者数

出所：SPTO(2023) 2022-Annual Visitor Arrivals Reportを参照に調査団作成

本日のアジェンダ

サバイイ島の溶岩原
(サモア) ⇒



出所：調査団撮影

世界で最も近づける
タンナ島の火山 (バヌアツ)



出所：SPTO



《前段》
太平洋島嶼国
にとっての「観光」

事業/活動
概要 & 成果

観光事業の
可能性

【その他】
・ブローシャー紹介
・ネットワーク紹介



出所：調査団撮影

←廃ガラスを再利用して作
るお土産 (パラオ)



出所：調査団撮影

←古代文明の世界文化遺産
(ミクロネシア連邦)

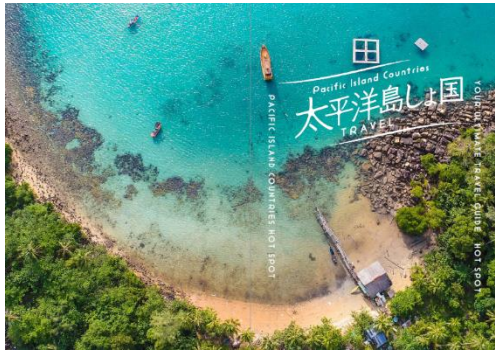
事業/活動概要&成果

目的

観光セクターの振興により、太平洋島嶼国・地域の経済成長の回復を促す。

活動 1: 日本・太平洋島嶼地域 持続可能なグローバルツーリズムネットワークの設立と実施

本ネットワークは、日本及び太平洋島嶼国・地域の参加者に対し、「知の共有」、「事業検討」、「セミナー・研修」の機会を提供する。本ネットワークの主な目的は、「相互理解」を促進するだけでなく、「新たな観光ビジネスの機会を創出する」ことである **(2024年5月31日現在：登録者数 96人)**。



活動 2: 16か国/地域のブローシャーの作成

ブローシャーのターゲットは、太平洋島嶼国/地域になじみがない日本人観光客とする。このブローシャーの主な目的は、①日本人観光客に太平洋島嶼国・地域の魅力をアピールし、②太平洋島嶼国/地域に興味を持ってもらい、③興味のある国・地域を検索するなどの「最初のアクション」を起こしてもらうことである。

活動 3: オンラインビジネスプラットフォームへの観光コンテンツの提供

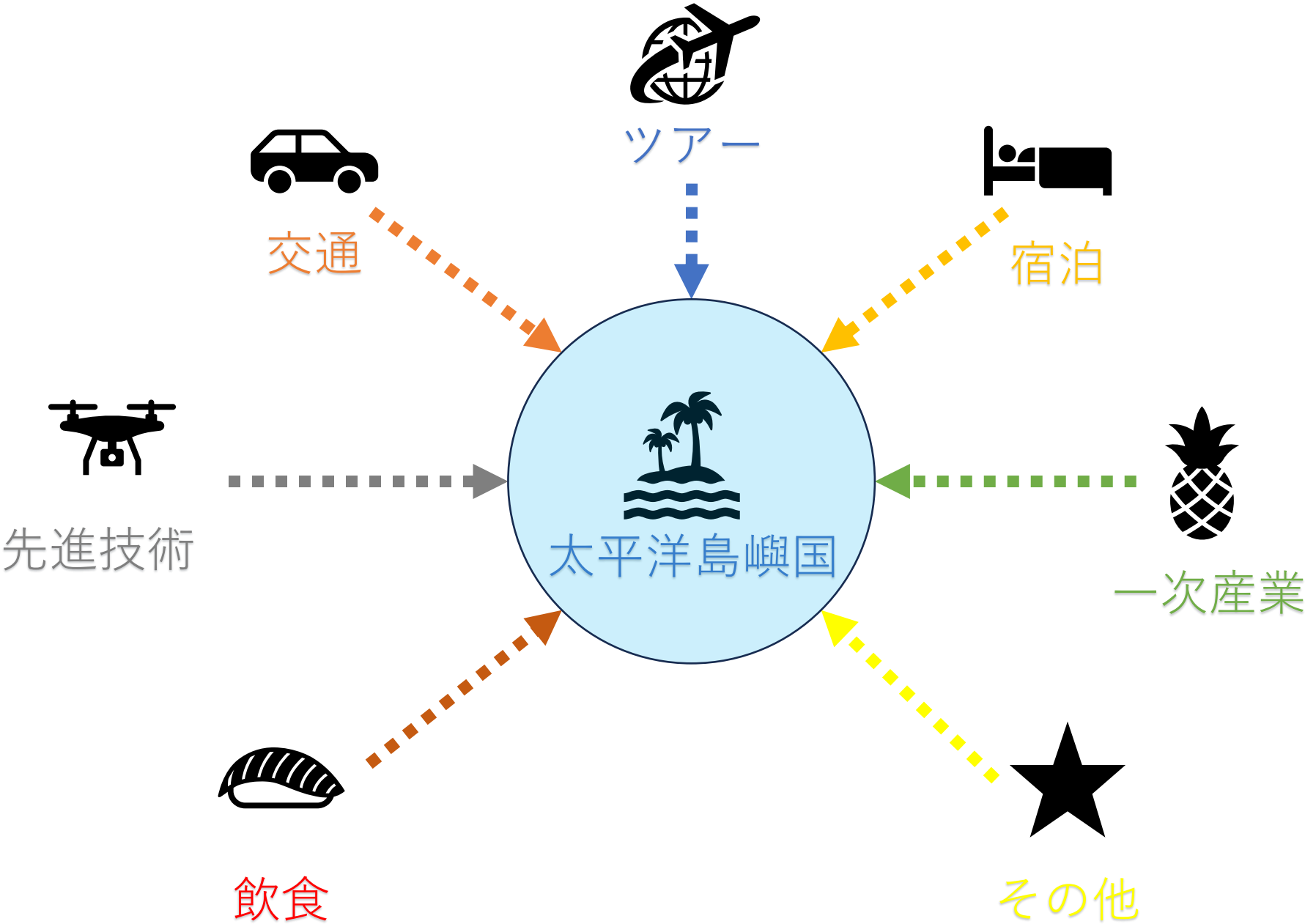
オンラインビジネスマッチングプラットフォームのWebサイトに、ブローシャーやネットワーク実施報告書などを含む観光コンテンツを提供する。コンテンツ例：各国・地域の紹介、各国・地域のブローシャー、各国観光局Webサイトや公式SNS (Facebook等) などへのリンク。



事業/活動概要&成果

事業/活動	成果
1 日本・太平洋島嶼地域 持続可能なグローバル ツーリズムネットワー クの設立と実施	<ul style="list-style-type: none">● 2023年10月に設立● 参加登録者人数：96名（日本67名（民間25名）、太平洋島嶼国：29名（民間7名））● テーマ別分科会：2回<ul style="list-style-type: none">➢ 2023年11月：地域資源を活用した観光開発（32名）➢ 2024年4月：火山を活用した観光開発（51名）● セミナー/研修：3回<ul style="list-style-type: none">➢ 2023年12月：太平洋島嶼国における持続可能な観光商品開発（52名）➢ 2024年1月：ドローンを活用した観光PR（44名）➢ 2024年2月：観光資源としての星空とその撮影技術（38名）● 事業検討分科会：2回<ul style="list-style-type: none">➢ 2024年3月：現地観光ツアー実施➢ 2024年5月：現地教育関連研修実施
2 16か国/地域のブロー シャの作成	<ul style="list-style-type: none">■ 16か国/地域のブローシャ作成（日本語版&英語版）【最終化中】■ 16か国/地域のブローシャの配布【2024年7月以降想定】
3 オンラインビジネスプ ラットフォームへの観 光コンテンツの提供	<ul style="list-style-type: none">◆ オンラインビジネスプラットフォームにおける観光コンテンツへの情報提供【プラットフォーム構築中】

観光関連事業の可能性



観光関連事業の可能性

区分け	観光関連事業例
<u>ツアー</u>	<ul style="list-style-type: none">👉 「海」以外の観光資源（星、火山など）を活用した一般観光客ツアーの造成👉 <u>現地の取り組み（環境保護など）に着目した教育機関向けスタディツアーの造成</u>👉 文化・歴史を軸としたツアーの造成👉 長期滞在プログラムを軸としたツアーの造成👉 <u>太平洋島嶼地域を周遊するアイランドホッピングツアーの実施</u>
交通	🚗 観光地へのアクセス改善を目的とした環境に優しい交通システムの導入
<u>農業</u>	🌾 <u>狭い国土でも地産地消が可能となる農業の実施</u>
<u>宿泊</u>	<ul style="list-style-type: none">🏨 <u>恒常的に不足している中級ホテルなどの宿泊施設の建設・運営</u>🏨 <u>民泊事業の運営</u>
<u>飲食</u>	🍴 <u>日本の食文化に類似性を持つ地域での日本食レストランの運営</u>
先端技術	🚁 ドローンなどの先進技術を活用した観光プロモーション事業の共同実施
<u>その他</u>	<ul style="list-style-type: none">☆ 現地土産の開発・販売☆ <u>太平洋島嶼地域から日本への誘客（インバウンド促進）</u>

観光関連事業の可能性

区分け

観光関連事業例

ツアー

- 🌿 現地の取り組み（環境保護など）に着目した教育機関向けスタディツアーの造成
- 🌿 太平洋島嶼地域を周遊するアイランドホッピングツアーの実施



①教育機関向けスタディツアー@パラオ

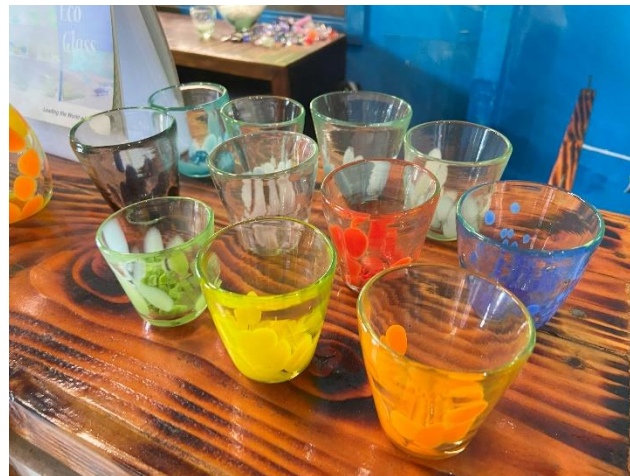
環境保全への取り組みが最も進んでいる国のひとつ。パラオプレッジ、サンゴに有害な日焼け止めの禁止だけでなく、ベラウエコグラスのように完全循環型のリサイクルセンターを持つ。実際に日本の学校の訪問を受け入れ実績も有り。

②アイランドホッピングツアー@太平洋島嶼全域

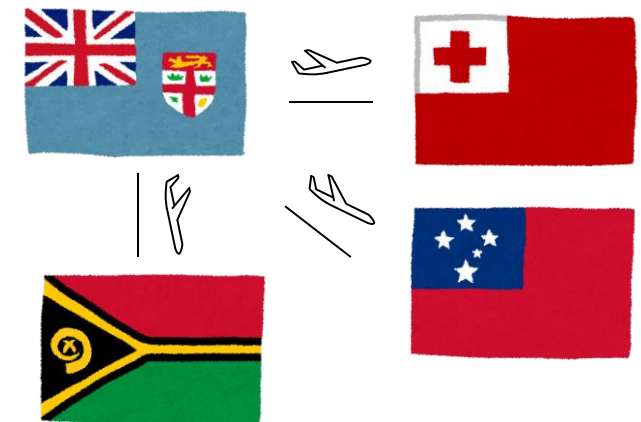
日本から直行便があるフィジー（メラネシア地域）から、文化圏が異なるポリネシア地域のトンガやサモアへ行ったり、ナウル航空のアイランドホッパーで、パラオ⇒ミクロネシア連邦⇒マーシャル諸島⇒キリバス⇒ナウル⇒フィジーを回るなども可能。



出所：調査団撮影



出所：調査団撮影



メラネシア地域をとことん味わう！

ポリネシア地域で新しい文化を味わう！

観光関連事業の可能性

区分け

観光関連事業例

宿泊

- 恒常的に不足しているホテルなどの宿泊施設の建設・運営
- 民泊事業の運営



①ホテルの建設・運営@フィジー、サモアなど

フィジーでは世界各国からの観光客増加により、ホテルが慢性的に不足している。日本だけでなく、オーストラリアやニュージーランドなどの近隣諸国からの観光客をターゲットにしたホテルの需要は高い。

②民泊事業@バヌアツ、サモア、マーシャル諸島など

大規模なイベント（パシフィックゲームズなど）などが行われると、宿泊施設が瞬く間に埋まり、一般家庭が宿泊先となることがあった。民泊事業が始まることで、観光客を受けいれるキャパシティが広がり、さらに現地住民に直接的な収入向上につながる。



出所：調査団撮影



出所：調査団撮影



出所：調査団撮影

観光関連事業の可能性

区分け

観光関連事業例

飲食

☞ 日本の食文化に類似性を持つ地域での**日本食レストランの運営**

①**日本食レストランの運営@サモア、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦など**

「生魚」を食べる習慣を持つ国が多い。たとえば、サモアでは、サシミや日本で有名な醤油メーカーの名前が良く知られており、身近な食べ物となっている。また、醤油と砂糖で甘辛く煮込んだ豚肉があり、その味わいは角煮とほぼ同じであった、日本食が受け入れられる素地は十分にある。



出所：調査団撮影

サモアのマグロのたたき。ホテルのメニューにほとんどある。



出所：調査団撮影

マーシャル諸島の刺身弁当。打ち合わせのランチにできるほど身近。



出所：調査団撮影

サモアのケケプア（饅頭）。中身は角煮に近い味の豚肉。¹³

観光関連事業の可能性

区分け 観光関連事業例

一次産業 ① 狭い国土でも 地産地消が可能となる農業 の実施



① 栽培技術の導入@マーシャル諸島など

多くの太平洋島嶼国は農作物（特に野菜）を輸入に依存しており、「現地の食材で現地の食べ物を食べたい」という観光客ニーズを満たすことが難しい。水耕栽培などの国土面積に拠らない農業技術を導入することで、ニーズを満たすだけでなく食料安全保障にも資する。



出所：調査団撮影

区分け 観光関連事業例

その他 ☆ 太平洋島嶼地域から 日本への誘客（インバウンド促進）



① インバウンド促進@フィジー、サモアなど

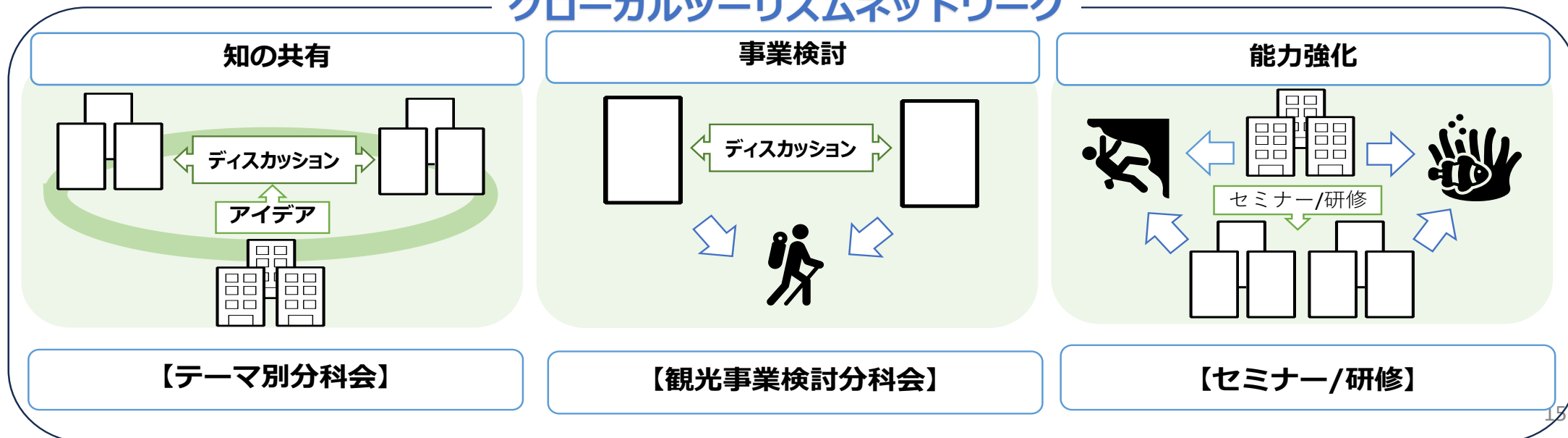
フィジーやサモアでは「日本の観光事情」と「日本の観光事業者」について聞かれ、日本を旅行目的地（デスティネーション）として捉えていた。サモアでは日本で行われたラグビーワールドカップを観戦するために、日本へ渡航した現地の人もいた。また、インドネシアのバリ島でウェディングをあげたり、オーストラリアに旅行するサモア人も増えているとのことであった。

その他① グローカルツーリズムネットワーク紹介

【コンセプト&活動】

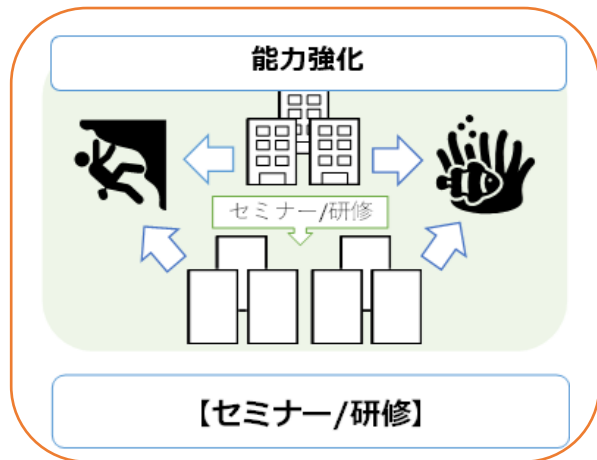
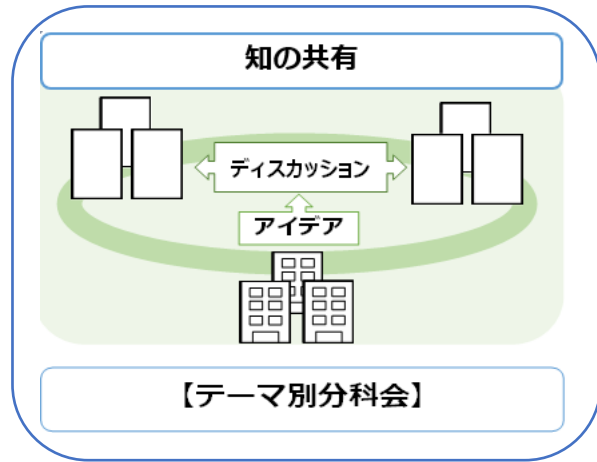
- 「新たな観光ビジネスの機会を創出すること」を目的とし、2023年10月に設立。
- 参加登録者人数は、2024年5月31日現在で「96名」（日本67名（民間25名）、太平洋島嶼国：29名（民間7名））。
- 日本及び太平洋島嶼国・地域の行政機関、学術団体、民間事業者などに対し、以下の活動を通して「知の共有」、「事業検討」、「能力強化」の機会を提供。
 - **テーマ別分科会**：特定のテーマに沿って登壇者が事例を発表する。課題・教訓・事業機会などの**知の共有**を図り、参加者は新しい観光事業のアイデアを獲得する。
 - **観光事業検討分科会**：テーマ別分科会もしくはセミナー/研修の実施を経て創出された観光事業を検討する。グローバルツーリズムネットワークは、場の設定とファシリテーションを行う
 - **セミナー/研修**：観光関連に係るセミナー/研修の場を参加者に提供する。民間事業者には、自社事業をアピールする場としても活用してもらい、参加者との観光事業の共創を促す

グローバルツーリズムネットワーク



その他① グローカルツーリズムネットワーク紹介

【現状&実績&成果】



第1回テーマ別分科会：地域資源を活用した観光開発（神津島×フィジー）
（参加人数：32名【太平洋側：3名】）

第2回テーマ別分科会：火山を活用した観光開発（三宅島×サモア×バヌアツ）
（参加人数：51名【太平洋側：20名】）

第1回セミナー：太平洋島嶼国における持続可能な観光商品開発（UN Tourism）
（参加人数：52名【太平洋側3名】）

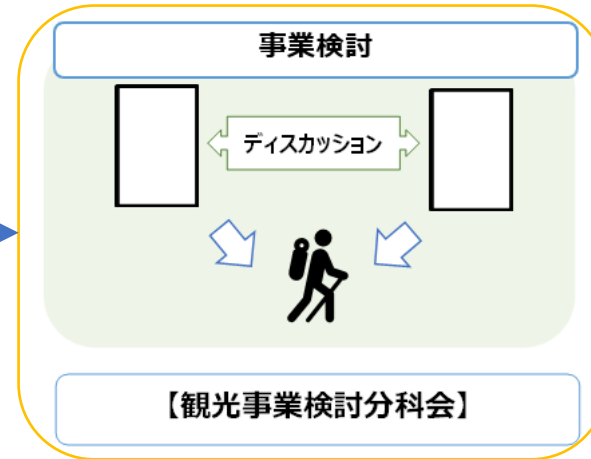
第2回セミナー：ドローンを活用した観光PR（ドローンエンタテインメント 横田氏）
（参加人数：44名【太平洋側8名】）

第3回セミナー：観光資源としての星空とその撮影技術（写真家/週末冒険家 山下氏）
（参加人数：38名【太平洋側：12名】）

観光関連研修

助成金/補助金活用

ツアー実施



事業実施

面談申し込み

星空撮影ツアー

その他② ブローシャー紹介

【コンセプト&活動】

- ターゲットは、太平洋島嶼国/地域になじみがない**日本人観光客**
- 主な目的は、日本人観光客に「**最初のアクション**」を起こしてもらうこと。
- ブローシャを通じて、日本人観光客に太平洋島嶼国・地域の**魅力をアピール**し、太平洋島嶼国/地域に**興味を持ってもらい**、③興味のある国・地域を**検索するなどの「最初のアクション」**を起こしてもらう。
- ブローシャーはデジタル化（日・英）し、日本および太平洋島嶼国/地域の観光関連機関と事業者が自由に使えるようにする。
- ブローシャーの特徴は以下のとおり。
 - **網羅性**：16か国/地域の観光情報を収録。観光地として有名なフィジー、パラオ、ニューカレドニア、仏領ポリネシア（タヒチ）以外にも、**日本人に馴染みが薄い国/地域も含めた**。
 - **公平性**：観光資源や開発度合いに差はあるが、**すべての国/地域を見開き1ページずつの分量**にまとめた。
 - **多様性**：「青い海」「白い砂浜」「優しい人々」など、すべての太平洋島嶼国/地域にほぼ共通する観光資源/要素だけでなく、**各国/地域が持つ特色ある観光資源に焦点**を当てた。
 - **娯楽性**：フローチャートやクイズを入れたり、モデルコースを見せたりすることで、ブローシャーを読む楽しさを念頭に置いた。また、クイズの答えを他の国/地域のページに記載することで、**読者の興味・関心が他国/地域に広がる**ように工夫した。

アクティブに過ごしたい？

or

のんびり過ごしたい？

自分にぴったりの旅を見つけよう!

アクティブ派?

のんびり派?



秘境で冒険したい?
or
スポーツを楽しみたい?

秘境で冒険



スポーツ



自然について知りたい?
or
歴史文化に興味がある?

自然

何もかも包み込んでくれる
雄大な自然に抱かれたい

歴史文化

太平洋島しょ国の
歴史文化に触れたい

旅行先で新しいことを知りたい?
or
何もしいない贅沢な時間を
過ごしたい

新しいことを知りたい

贅沢な時間を過ごしたい

素敵なリゾート環境で
ゆっくり過ごしたい

秘境で冒険

p.13-14	ミクロネシア連邦:ジブ島
p.21-22	マーシャル諸島:ピキニ珊瑚
p.19-20	キリバス:世界で一番早い日の出
p.23-24	ナウル:リン鉱石採掘場
p.31-32	バブアニューギニア:セピック川
p.39-40	ツバル:フナフティ海洋保護区
p.41-42	バヌアツ:火山



スポーツを楽しむ

p.17-18	仏領ポリネシア(タヒチの島々):野生イルカとダイビング
p.23-24	ナウル:ゲームフィッシング
p.33-34	サモア:鷹つばダイブ
p.37-38	トンガ:ホエールスイミング



自然を満喫

p.11-12	クック諸島:黒真珠
p.19-20	キリバス:クリスマス島の自然
p.25-26	ニューカレドニア:映画の舞台となったウベア島
p.27-28	ニウエ:70m先まで見える海の透明度、世界初の星空保護区
p.29-30	パラオ:世界遺産のロックアイランド
p.35-36	ソロモン諸島:100種類以上の花、鳥、蝶
p.39-40	ツバル:絶滅の危機に瀕しているアオウミガメ
p.41-42	バヌアツ:ジュゴン探検ツアー、火山



歴史文化に触れる

p.13-14	ミクロネシア連邦:世界遺産のナンマドール遺跡や石炭
p.15-16	フィジー:インド文化
p.21-22	マーシャル諸島:伝統的工芸品「アミノノ」
p.27-28	ニウエ:ヴィレッジショーデー(村の紹介日)
p.29-30	パラオ:ベリリュウ島
p.31-32	バブアニューギニア:ラバウル戦線、シンシンショー
p.33-34	サモア:伝統家屋のファレ
p.35-36	ソロモン諸島:骸骨島、石造りの島
p.37-38	トンガ:太平洋の島々で唯一の王国



リゾートでゆったり

p.11-12	クック諸島:ラロトンガ島のリゾート
p.15-16	フィジー:デナラウのリゾート
p.17-18	仏領ポリネシア(タヒチの島々):ボラボラ島
p.25-26	ニューカレドニア:メトル島・ヌメアの街



TONGA トンガ

知られざる悠久の王国

南太平洋に浮かぶ、青い海に囲まれた神秘的な王国、トンガ。その美しい自然と古代の歴史が織りなす魅力は、まるで時間がおとまりしたよう。トンガは太平洋諸島のなかで過去に一度も植民地化されず、現在まで王朝が継ぐ唯一の国です。約170の島々があり、南からトンガタプ島、ハバハイ島、ババウ島、ニウアス諸島の4つの諸島を構成しています。トンガタプ島の首都ヌクアロファには、静かに佇む王家や歴史的建造物があり、古代トンガの息吹を感じさせます。そしてトンガといえば、大迫力のホエールスイミング! ここはクジラと一触りすることができ、世界でも数少ない場所です。悠久の歴史と息をのむような自然に包まれ、夢の中の王国に迷い込んでみませんか?



遊覧船時刻
 運航会社: ニューランド (ニューランド) / ニューランド (トンガ)
 運航会社: ニューランド (ニューランド) / ニューランド (トンガ)

初級モデルコース トンガタプ島で悠久の王国にタイムスリップ!

- 1日目
 PM ● フジー船またはニューランド船でトンガタプ島のファアモツ国際空港に到着
 リフトホテルにチェックイン。夕日観望ながら、王国の到着を祝賀
- 2日目
 AM ● 王宮の歴史をスタート。まずは王宮を訪ねよう
 広い芝生、白い壁と美しい庭園が美しい
 王宮の歴史を、悠久の歴史の語り手から聴く
- PM ● スクアロファ市内のビーチで海産物を使ったビーチ・ピクニックのランチを堪能
 海に架かる美しい吊り橋「アヒカ」をバックに、トンガの子どもの笑顔と一緒にご飯
- 3日目
 AM ● トンガタプ島の東エリアへ
 古代ポリネシアの遺跡、ハアモツガ、マウイ遺跡を訪ねる
 島の美しいビーチと、島の歴史が感じられる
- PM ● 島のよさを伝えるビーチにある「レイ・ビーチ」のビーチで
 トンガ伝統舞のヒツツアを堪能した後、(夜)「フイヤー」ダンス
 ショーを楽しもう! 島の歴史を語りながら、島の歴史を
 (日ビュッフェディナーとライブバンド演奏は水曜日は金曜日のみ)
- 4日目
 AM ● トンガタプ島の南～西エリアへ
 トンガで最も美しいビーチ、フアンガレルを
 楽しむ。フアンガレルのビーチで、家族に
 伝承する水泳の歴史の体験をしよう
- PM ● ハアタフ・ビーチへの道すがら、雨を覚悟しながら「クイアト
 ランチ」を楽しむ! トンガタプ島の歴史、ハアタフ・ビーチで
 の「フイヤー」ダンス
 ハアタフ・ビーチは「サンセット」としても人気!
- 5日目
 All day ● 「バンガイ」で日曜のデイトリップを楽しむ
 おすもは土曜日の日曜日、リゾート内のレストランでトンガ料理を
 堪能したり、夕日鑑賞の夕暮れを満喫したりは、日曜日の
 ファアモツビーチの近くにあるリゾートにおすも
 トンガ料理のランチを楽しむ。水曜と金曜日は「ヒツツア」を楽しむことができます
- 6日目
 PM ● 日本への帰路につく

中級モデルコース ゼトウクジラを追え! ホエールスイミングとアクティビティ満載プラン

- 1日目
 PM ● フジー船またはニューランド船でトンガタプ島のファアモツ国際空港に到着
 ホテルにチェックイン。首都ヌクアロファのレストランで明日からの冒険の興奮を味わう
- 2日目
 All day ● トンガタプ島から南緯でババウ島へ
 ババウ島の島の玄関口「ババウ」の歴史から
 首都ヌクアロファに到着
 ホテルに荷物を預けたら、早速ヌクアロファ市内や南緯の歴史を!
- 3日目
 All day ● マリンアクティビティに参加!
 トンガに初めて来た方は、ホエールスイミング・スイミング
 最大のタラサを目前で見る貴重な機会を
 スキューバダイビングも魅力!
- 4日目
 All day ● トンガタプ島へ戻る。スクアロファで静かなお土産をゲット
- 5日目
 PM ● 日本への帰路につく

オンラインコンテンツを楽しむ
 さらにはトンガの歴史を知りたい方はトンガ観光局の
 ウェブサイト「トンガ」にアクセス! 最新の観光情報や
 ムやホテルの情報を確認することができます。



太平洋の島々では、かつてトンガ以外に王国文化がありました。紀元1000年から600年程度続いた王国で、世界遺産にも認定されている国がある国はどこでしょうか?
 答えは p.14 に!

コラム1 トンガの先史時代～王国の紀元
 トンガに初めて定住したのは「ポリネシア」を持つ人々であったとされています。ポリネシア文化は「ポリネシア」の文化で、紀元1000年頃にトンガに定住し、その後の1000年間にわたって繁栄しました。紀元1500年ごろ、島の神クアロファの子である神クアロファ・トンガ(Tu'i Tonga)がトンガを統一し、初代国王となったとされています。

コラム2 日本の皇室とトンガの王室の交流&ラグビー交流
 太平洋の島々で唯一の王国トンガは、国王陛下の御儀式に日本の皇室から皇太子(内閣閣下(編注)が出席されるなど、日本の皇室と交流があります。また、ラグビーが盛んなトンガからは多くのラグビー選手が来日し、例えばラグビーワールドカップでは1987年の第1回大会からトンガが代表選手が日本代表として活躍しています。

A tropical beach scene at sunset. The sky is a mix of blue and orange, with the sun low on the horizon. Several palm trees are silhouetted against the sky. In the foreground, there are several thatched huts with wooden tables and chairs. Two people are sitting at a table on the right, looking out at the ocean. The water is calm and reflects the sunset colors.

ご清聴ありがとうございました。